



「考える人」

(本校舎教頭 善 由美子)

人はみんないろいろなところで、いろんなものを感じとって、それぞれにたくさんの思いをもっていきます。コロナ禍に入って早一年余り。その前のことを思い起こすと、びっくりするほどの明るい笑顔がいっぱいの日々でした。ふと今を思うと、「変わったなあ」と痛感します。でも、そんな中、人はたくさんのことを思いつき、やっていっては新たなことを発見しています。

リモート飲み会なんて、未来のドラえもんの世界と思っていたことが、現実にあるんだ、やっていいんだとちょっと不思議な思いです。きっとこの後も、私たちはいろんなことを殻を破って突き進み、今は考えられないと思うことを現実にしていくこともあるんだと思います。

私たちみんなの頭は「考える」ことが平等にあるんです。それは一人一人違っていいんです。そんなたくさんの思いの中から楽しい未来が待っているんだと思っています。

「のびのび2年生！！」

楽しく勉強しています!(^)!」

(本校舎小学部)

C2年生は、「でんしゃにのってあそぼう」の学習をしました。線路の上を電車に乗って進んだり、各駅の遊具で身体を動かしたりして、電車遊びを笑顔で楽しみました。

F2年生は「お話を楽しもう」の学習をしました。大型絵本、パネルシアターやエプロンシアターでいろいろな話を楽しんで聞きました。『おめんです』の本では、話を聞いた後、自分が好きなお面を被りました。



「季節の行事を楽しもう ～七夕編～」(本校舎中学部)

C課程2年生は、生活単元学習で七夕について学習しました。なぜ七夕の行事が行われるのか、七夕の由来を知ったり、七夕の歌を歌ったりしました。また大きな笹を切ってきて、そこに飾る輪飾りや吹き流し、スイカや網飾り等の様々な飾りを楽しんで手作りしました。短冊には「コロナがなくなりますように」などの願い事をしたためて、それぞれが思いをこめて笹に飾りつけることができました。



「前期現場実習・校内実習」(本校舎高等部)

6月7日(月)から6月18日(金)までの2週間、高等部前期現場実習・校内実習を行いました。実際に一般企業や福祉事業所に出勤して、各自で立てた目標を達成できるようにそれぞれの現場で一生懸命に取り組んでいました。校内実習では学校を職場と考え、袋解体をメインに取り組みました。挨拶や返事、報告など社会人として必要なスキルを学んだことを今後の生活に生かしてほしいと思います。また、各自で振り返りを行い、22日(金)の報告会では、パワーポイントを使い報告しました。



「元気いっぱい体育祭！」(分校舎)

若楠療育園では、6月22日に体育祭を行いました。応用走では、プールに見立てた青色のテープの中をくぐってから2つのコーンの間を通り、最後に2段に積まれた箱を崩してゴールしました。玉入れでは、補助具を使ったり直接投げ入れたり、それぞれ自分が得意な方法で制限時間いっぱいまで頑張っていました。みんなとても良い表情で、集団活動の賑やかな雰囲気を楽しむことができたと思います。



「プール、きもちいいね！」(鳥栖田代分校)

体育祭も終わり、落ちついた雰囲気の中で毎日過ごしています。6月中旬からプールの授業も始まりました。ばた足や輪くぐり、自由遊びなどで楽しんでいます。中学部は、岩手県立一関清明支援学校 千厩分教室 みなとも学級の友達とのオンライン交流で、自己紹介や「手のひらを太陽に」の手話歌を披露しました。後日、暑中見舞いも書きました。お返事が来るのが楽しみです。

